

年齢 60歳代

性別 男性

診療科 胃腸内科

介入項目 薬剤減量

## 事例概要

改善要因 過去の特定健診情報を確認

### 概要

- ・ 初来局の患者にファモチジン口腔内崩壊錠 20 mg 2錠 1日2回 朝夕食後が処方されていた。
- ・ マイナ保険証で特定健診情報閲覧の同意が得られていたため、令和6年1月に実施された特定健診情報を閲覧したところ、eGFRが60未満と腎機能低下が示唆された。
- ・ ファモチジンは主として腎臓から排泄されるため、腎機能が低下した患者に投与すると、血中濃度が上昇する。そのため、投与量を減らすか投与間隔をあけて使用する必要がある。
- ・ 処方医に特定健診の検査値を伝え疑義照会した結果、ファモチジン口腔内崩壊錠 20mg は1錠1日1回夕食後に減量となり、血中濃度上昇による副作用リスクの低減に繋がった。

マイナンバーカードを活用した特定健診情報の血液検査データを活用することで  
患者の腎機能評価を行い適正な薬物療法に貢献することができた。